

2022年3月10日

## 「健康経営優良法人2022」に認定

大東建託リーシング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:守義浩)は、3月9日、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人2022」に認定されました。

健康経営の5つの評価項目(情報開示、組織体制、制度・施策の実行、評価・改善、法令順守)のうち、経営層の積極的な関与や、健康課題の把握と土台作りへの具体的対策が評価されています。

今後も「大東建託グループ健康宣言」のもと、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に健康増進と企業価値の向上に取り組んでいきます。

### ■「健康経営優良法人認定制度」とは

「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。当制度は、健康経営(従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること)に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業、金融機関などから社会的に評価を受けることができる環境を整えることを目的としています。



### ■ 大東建託リーシングの健康経営への取り組み

- 定期健康診断・二次検査100%実施と健康ハイリスク者へのアプローチ  
健康でいきいきと働くことが出来るよう、二次検査も毎年100%実施しています。同時に健康ハイリスク者への保健指導を強化し、疾病の早期発見と重症化予防に努めています。
- 健康教育によるヘルスリテラシー醸成  
オンラインやイントラネットを利用した健康教育の実施により、メンタルヘルスのセルフケア力を高め、喫煙率の低下などのヘルスリテラシーを醸成しています。
- ワークエンゲージメント向上への取り組み  
有給休暇取得の促進や、残業時間減少、両立支援策等により、ワークライフバランスの実現やエンゲージメントの向上を目指しています。

